

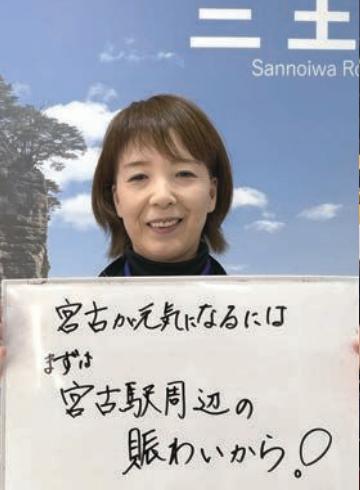
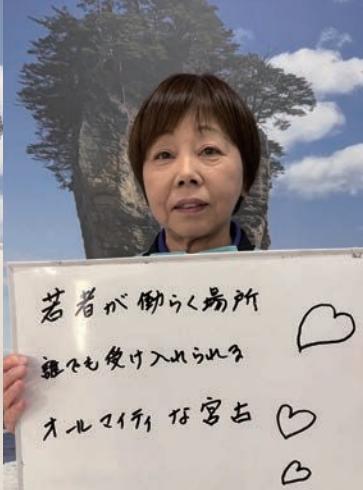
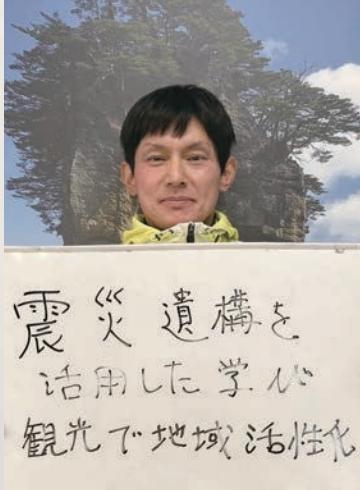
みやこ市議会だより N

羅針盤 らしんばん

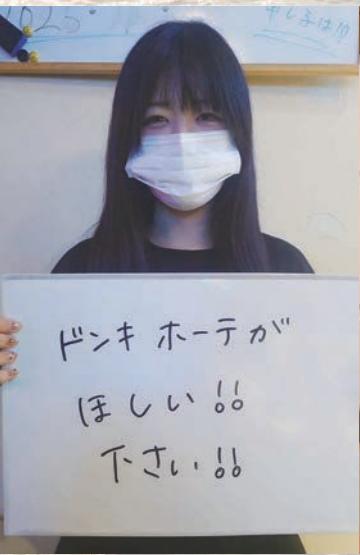
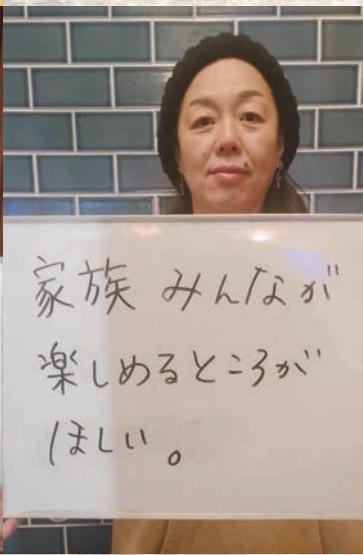
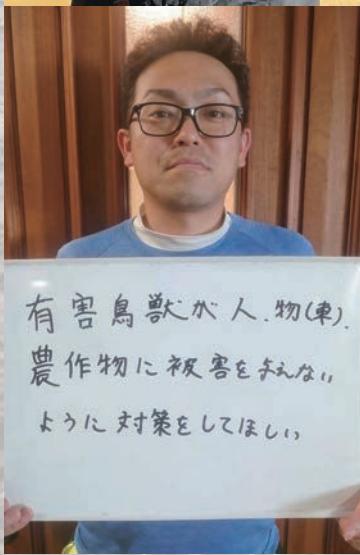
2025

令和7年

12月議会
No.83



かぎりがんせ!
参加して語っこ!
~市民が望むまちづくり~
みんなの議会



【A】現在、クマの状況は従来よりも危険性が高くなっていると認識している。子どもたちに被害が起きないよう、短期・中期の対策を整え、通学路の安全確保について市に伝える。

【Q】西ヶ丘にもクマが出没している。樹木がうつそうとしているところなど、刈り払いをしてほしい。

【A】その土地が市の所有かどうかを確認して対処する。

※市で対応済み。

【Q】市として「ガバメントハントター」の育成を検討できないか。

【A】職員ハンターの育成は時間がかかる見込みであり、即時の対応は困難と想定されるが、今後の体制強化について市と共に検討していく。

【Q】富古市は、実質単年度収支がマイナスのことだが、市の財政は大丈夫なのか。また、マイナスとなつた要因は何か。

【A】財政調整基金を取り崩し、財源充当した関係で実質単年度収支がマイナスとなつた。財政調整基金は毎年度、一般会計歳入に充当されているが、6年度は充当額が大きかったことから、財務上の取り扱いでは赤字計上となつた。人口減少や地域経済の低迷等で市税収入が減少していること等が要因である。

【Q】「うみマチ広場」の利用料金の引き上げを決定したと聞くが、利用者が使えなくなる等の影響について、どのように考えているのか。

【A】令和8年4月から利用料金の引き上げが行われる。しかし、通常的に利用されている団体等は免除登録となっているため、特に影響は無いと考える。登録されていない団体等は、利用料金が引き上げとなるが頻繁に利用されている実態にないもの。

【Q】旧キャトルを解体した後の利活用計画はどのようになっているのか。

【A】市では県に対して要望をあげているが、なかなか進まないのが現状である。議会としても市と一緒になって、早期の整備促進を目指し働きかけていく。



川井会場
(川井生涯学习センター)

と聞いている。

【Q】市が行なつて太陽光発電で生み出された電気はどこで使われているのか。

【A】市の公共施設で使われていると聞いている。

【意見・要望】

● 川井小中学校の体育館にはエアコンが無く、夏場は活動が困難な状況にある。環境整備を強く想定される反対側に抜ける道路の整備をお願いしたい。

● 津軽石の高台にある館山公園は津波避難をすると来た道が浸水想定区域となつていて、孤立してしまう。そこで、浸水外と想定される反対側に抜ける道路の整備をお願いしたい。

● 耕作放棄地が増えてきた。環境整備、景観保護の上で地域内の組織で行なうしかないと、経費的な補助制度が欲しい。

● 消防団員が減少し、団員の確保に苦労している。人口減少地域での消防活動や地域の安全を守っていくためには、行政が消

防団に任せただけなく地域をどう守つていくのかという環境に合わせた視点・取り組みが重要ではないか。

● 蓋目インターの設計図を見たが、複雑で利用し難い。住民説明会を開催して地域住民の意見を聞くべきではないか。

● 高齢者が地域の様々な活動を支えている現状にある。市では子育て支援を手厚く行つていてが、高齢者が活動しやすいような補助金を増やしてほしい。

● 本市は東日本大震災や過去の津波、台風による土砂災害、水害を真摯に受け止め、市民の生活を守るために宮古市の立地や人口の分布などを考え、過去から学びを得た上での防災対策マニュアルがあります。

● 総務常任委員会では多くの多岐、多様にあるマニュアルを一つ一つ検証して、高齢者、子ども、身障者、性別での格差が出ないように本市の危機管理課と何度も意見交換を行つたり、各地にある避難所の現状の調査、他

宮古市避難所のあり方

提言

市へ政策提言を提出しました

総務常任委員会 政策提言

宮古市議会では令和7年9月30日に宮古市へ政策提言を行いました。

政策提言の内容は宮古市、「避難所運営等について」です。

本市は東日本大震災や過去の津波、台風による土砂災害、水害を真摯に受け止め、市民の生活を守るために宮古市の立地や人口の分布などを考え、過去から学びを得た上での防災対策マニュアルがあります。

総務常任委員会ではその多岐、多様にあるマニュアルを一つ一つ検証して、高齢者、子ども、身障者、性別での格差が出ないように本市の危機



今後益々増えていくだろう課題として検討するよう市に伝える。

のである。今回の料金改定については、市民交流センター利用料金とのバランスを考慮してのものである。

【その他】議会ではどのような議論がされているのか。通勤に利用し

たくともダイヤがない。

【Q】主要地方道重茂半島線の整備は何年かかるのか。

【A】市では県に対して要望をあげているが、なかなか進まないのが現状である。議会としても市と一緒になって、早期の整備促進を目指し働きかけていく。

【Q】公共交通の利用促進について、議会ではどのような議論が

議会ではどのような議論がされていて検討するよう市に伝える。

【Q】西ヶ丘にもクマが出没している。樹木がうつそうとしているところなど、刈り払いをしてほしい。

【A】その土地が市の所有かどうかを確認して対処する。

※市で対応済み。

暮らしの困りごとに、"今"必要な手当てを ～クマ対策、物価高騰対策などの補正予算12件を可決～



限られた財源の中で、何を優先し、どこに予算を配分するのか。そのため必要な制度設計は何か。

一つひとつの事業を単体で見ただけなく、その事業が市にもたらす効果や将来への影響も踏まえながら、各議案を慎重に確認し、議論を重ね、判断を行いました。

今回審議した案件は、補正予算12件、条例案件9件など、合計21件です。物価高騰への対応や、暮らしを支えるための施策など、今の社会状況を踏まえた内容が多く、市として「今、何に取り組むのか」が問われる定例会議となりました。

宮古市議会12月定例会議は、11月27日から12月16日までの20日間の日程で開催されました。

本定例会議では、補正予算や条例改正など、市民生活や地域経済に関わる重要な案件について審議が行われました。

12月 定例会議の概要

議会は「決める場」というイメージが強いと思いますが、その前に「話し合う場」があります。議案は、いきなり決まるわけではありません。本会議と委員会を行き来しながら、内容を確認し、意見を交わしたうえで採決していきます。

1 議案の提出

市長から、「この内容について議論してほしい」と予算案や条例案が議会に提出されます。

2 本会議(提案説明・質疑)

まず本会議で、議案の内容について全議員に説明が行われます。

3 委員会での付託審査

議案の内容に応じて、分野ごとの委員会に割り振って詳しく話し合います。

宮古市議会は3つの常任委員会があります。
(総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会)



定例会議



委員会

4 本会議(委員長報告・討論)

委員会での審査内容を、委員長が本会議で報告します。必要に応じて、賛成・反対の立場から討論が行われます。

5 採決(決定)

最終的に、本会議で可決・否決を決定します。

議案の提案は議員からもできます。その場合、委員会付託が省略される場合があります。

一般会計の補正予算の概要

**国より前に
物価高騰対策を決定する！**

令和7年度宮古市一般会計補正予算は、会期中に12議案として提案され、いずれも全会一致で可決された。物価高騰に苦しむ市民の窮状に、国の政策よりも前にいち早く経済対策を決めた。

令和7年度12月議会(定例会議)今回補正の主な事業(一般会計)

事業名	事業内容
農林水産業費 増額	<p>クマの誘引を防ぐために放任果樹等の伐採費用の支援補助金 150 万円、誘引物除去作業業務委託料など、合わせて 3,502 万円。</p> <p>補足ポイント：誘引物除去とは「地元住民の声を元に、クマを寄せつけていると思われる場所の見通しを良くするための伐採」</p>
民生費 新規	かきのき保育園が令和 8 年 4 月より受け入れ対象年齢を拡充することから、保育対策総合支援事業費補助金 2,039 万円を計上。
商工費 増額	光熱費及び燃料費等物価高騰の影響により指定管理料 424 万円、自動火災報知設備修繕工事費 539 万円を計上。
国の経済対策に呼応した緊急対策	
商工費 新規	地域経済の活力回復を図るとともに、経営に苦慮している地元商店や飲食店等への支援のため、1 億 600 万円を計上。商品券の利用期間は 2 月中旬から 6 月中旬まで。
国の経済対策に呼応した緊急対策	
商工費 新規	飲食店の売上増加や地域経済の活性化を図るために、情報発信と、2 人以上で飲食店を利用した場合の飲食代金の一部を助成する事業に 1,000 万円を計上。実施は 2 月から。
国の経済対策に呼応した緊急対策	
商工費	市内事業者及び商店街等が従業員のために実施する職場環境改善に対する経費の一部を支援し、人材確保、将来的な生産性を図るため、1,500 万円を計上。
職場環境改善推進事業	

補正予算の審査内容

一般会計に関する主な質疑について、報告します

なった前払金が回収できない場合、保証会社が返金保証するも

640万円の増額の相拗は何か
有害鳥獣の捕獲頭数はどのよう
な状況か。

シカ807頭、クマ21頭、イノシシ63頭、その他の小動物136頭。補正予算の増額はした補正予算なのか。

り届出を出した理由は何か。また、財源の前払い保証金とは何か。

受注者の資金繰りが滞ったためである。前払い保証金とは、工事施工にあたり受注者が保証会社と契約しており、過払いと

を供給して、クーラーや照明等に活用している。今回の車両は、非常時給電システムという機能を持ったコンパクトカーであり、避難所や停電の施設等に給電出来る車両である。

《地域循環型 プレミアム商品券事業》

問 今年度内に事業効果がないのではないか。

企画部長

事業の実施には、準備期間が必要である。給付型ではなく、市内事業者から申請を受け付けて、しっかりとプランを立て取り組む。

問 プレミアム率を10%にした考えは。

商工労働観光部長

これまでの経験から、高い率にすると利用できる人が限られるため多くの人が購入できるよう率を下げる。

問 国の重点支援地方交付金の目的はエネルギー、食料品価格高騰の影響を受けた生活者、事業者に対して、地域の実情に合わせて必要な支援をきめ細やかに実施することである。この度の事業はそれているのではないか。

企画部長

広く消費の下支えをすることを念頭に置いて提案している。

商工労働観光部長

今回の商品券の制度設計に当たり工夫したところは、市民の皆様に買い物に出かける機会を増やしていただくため、スタンプラリーとした点である。

問 グリーンピア経営改善事業

商工労働観光部長

アドバイザリー料を具体的な内容は。

みちのりグループから、総支配人クラスの人材を派遣し、横

串連携を図り、今いる社員の人材育成にもつなげる。
支配人、必要な管理職の派遣。他に宿泊施設管理、業務全般の統括管理。加えて販売戦略、マーケティングの支援、そして、人事にも関与することになる。

公社経営担当部長

グリーンピアの経営改善に市が多額の支援をする」とは、市内の事業者の経営を圧迫する側面があるのではないか。

公社経営担当部長

当初ここで幕を引くことも選択の一つにあたが、幕を引くということは宮古市の地域経済にとって不利益が大きいと判断した。

問 早急な投資計画で費用対効果を数字で示せるのか。

費用対効果分析は色々な出しがあると思うが、新たな宿泊

の増による波及効果や、様々な業者への影響などを数値化する時間が取れない。

問 グリーンピアの存続がかかつているこの問題、補助金を入れるということはラストチャンスの意味もあるか。

副市長

過大な負担にならないよう市民利益は何かという原点に立てる考える。



議案審査概要

今定例会議（初日）に提案された6つの条例案は、すべて総務常任委員会への付託となつた。

議案第6号 「宮古市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例」

説明 次の事項を教育委員会から市長部局に移管する。

(1)社会教育に関する教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。（宮古市立図書館、宮古市北上山地民俗資料館、宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム、宮古市公民館、宮古市生涯学習センター）

(2)スポーツに関するすること（学校における体育に関するこ

(3)文化に関すること。

(4)文化財の保護に関すること。

※全会一致で原案は可決された

▼詳細は12ページ

※「特別職報酬等審議会の定期的な開催を求める意見」を付して、原案は可決された

議案第7号 「宮古市部等設置条例の一部を改正する条例」

説明 市長部局並びに教育委員会

部局、学校及び学校以外の教育機関の職員定数の見直しをするもの。

※全会一致で原案は可決された

議案第9号 「宮古市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」

説明 議長、副議長及び議員の議員報酬の額を引き上げようとするもの。

※「特別職報酬等審議会の定期的な開催を求める意見」を付して、原案は可決された

議案第8号 「宮古市職員定数条例の一部を改正する条例」

説明 市長部局においても政治的中立性を考えて業務を遂行しており、偏った方向になることはないと認識している。

問 地方教育行政の組織及び運営に関する法律はいつできたのか。

説明 法律そのものは昭和30年代、ス

ポーツ文化を対象とした改正が平成19年、文化財の保護が平成30年、図書館、博物館、公民館等の社会教育施設が令和元年にそれぞれ改正された。

議案第10号 「宮古市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例」

説明 地方公共団体情報システムの標準化に伴い、個人番号を管理する機能を整備する

とともに就学援助及び特別支援教育就学奨励費の支給に関する事務において個人番号及び特定個人情報の提供を行うもの。

※全会一致で原案は可決された

議案第11号 「宮古市選挙における選挙運動用自動車の使用並びにビラ及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例」

説明 公職選挙法施行令の改正に伴い、選挙におけるビラ及びポスターの作成にかかる費用を公費で負担する額を引き上げるもの。

※全会一致で原案は可決された

一般質問 市政を問う ここが聞きたい



一般質問の内容を動画でご覧いただけます。

西村 昭二 議員(みやこ未来創造クラブ) (14)

- 緊急銃猟・鳥獣対策について
- 動物へのエサやり問題について
- 建設工事の入札制度について

白石 雅一 議員(みやこ未来推進クラブ) (14)

- インターンシップ制度をきっかけとした関係人口の拡大について
- 幼稚園等の未就学児預かり施設のクマ対策について

水木 高志 議員(みやこ未来創造クラブ) (15)

- 潜在的支援対象者における社会保障の充実について

古館 博 議員(宮古新生会) (15)

- 小国保育所の今後について
- デビ工処理加工施設の運営等について

竹花 邦彦 議員(立憲・市民クラブ) (16)

- 市財政の現状と新年度予算編成等について
- 物価高騰・地域経済対策の実施について

山崎 高広 議員(みやこ未来創造クラブ) (16)

- 特定公益増進法人(ユニセフ等)への寄付金に対する住民税控除について

畠山 智章 議員(みやこ未来推進クラブ) (17)

- 公共交通におけるタクシーについて
- 宮古市の観光地のあり方について

佐藤 和美 議員(みやこ未来創造クラブ) (17)

- 消防団の持続可能な体制づくりについて
- 不登校児童生徒への支援と今後の取組について

※質問項目は、一般質問通告によるものです。

市政を問う

ここが聞きたい

鳥居 晋 議員(宮古創生会) (18)

- ウニ殻の有効活用について
- 水産課に専属技師を雇用することについて

田中 尚 議員(日本共産党) (18)

- 安全で快適な生活環境づくりについて

落合 久三 議員(日本共産党) (19)

- 市営住宅ストック改善事業の今後について
- 県道重茂半島線南側の改修について
- 訪問介護事業所支援について

伊藤 清 議員(みやこ未来創造クラブ) (19)

- ふるさと納税について
- 猛暑による農作被害対策について

木村 誠 議員(宮古新生会) (20)

- 入札制度の見直しについて
- 本市の魅力向上について
- 低所得者の生活支援について

佐々木 真琴 議員(みやこ未来推進クラブ) (20)

- 若年層の人口流出を見据えた今後の人口政策の方向性について

工藤 小百合 議員(宮古創生会) (21)

- 浄土ヶ浜の環境美化、トイレ環境について
- 総合事務所の役割と予算措置について
- 新里・川井地区からの公共交通機関を利用した通院について

松本 尚美 議員(無所属クラブ) (21)

- 有害鳥獣駆除について
- 都市ゴミのエネルギー化について
- 小・中学校の教育環境について

宮古市議会の情報をリアルタイムで

インターネット中継

本会議は生中継(ライブ配信)しています。録画中継は、本会議のおおむね5日後(土日祝を除く)から配信いたします。(パソコン、スマートフォン、タブレット端末に対応)

Facebook

宮古市議会のトップページのリンクをクリックしてご覧ください。



宮古市議会
Facebook

みやこハーバーラジオ(82.6メガヘルツ)

定例会議開催中の午前8時10分頃からの放送です。

次回3月定例会議

2月中旬の開催予定です。会議日程が決まり次第、宮古市議会のホームページトップに掲載します。詳しくは議会事務局におたずねください。(☎ 68-9113)
mail : gikai@city.miyako.iwate.jp



宮古市議会
ホームページ

18年ぶりの改正

議員報酬増額条例可決

宮古市議会では今定例会議で議員報酬を増額する条例を可決し、議員報酬が宮古市特別職報酬等審議会の答申に基づき増えることとなります。

この条例による議員報酬の増額は、平成19年以降で初めての改定となります。長年据え置かれてきた議員報酬が見直されたことにより、今後は議会や議員一人ひとりの活動内容や責任がこれまで以上に市民から問われることになります。

宮古市の議員報酬は適正かどうか

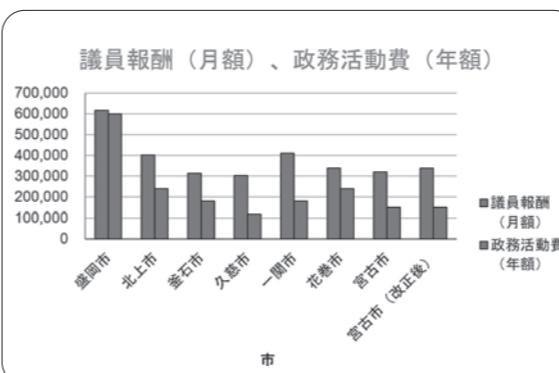
宮古市の議員報酬は、グラフにある他市と比較して、特段高い水準にあるものではありません。活動するにあたり、調査研究には政務活動費を活用することができますが、他市と比較すると政務活動費は少なく、また利用にあたっては一定の制約も設けられているため報酬からの捻出も多くあるのが現状です。こうした議員活動を取り巻く状況を踏まえ、より良い市政発展を念頭に置き、議員定数や報酬のあり方について検討してきました。議員のなり手不足や、女性・若年層の議員が少ない現状を変えていく一つとして議員報酬についても議論を重ねてきました。

今回の議員報酬の見直しは、議員活動を支える環境の一つとして検討されたものであり、議会としての役割や活動のあり方が改めて問われる契機となります。

員定数減と宮古市の広さは?

本市の広さは日本全国でも11番目に広い面積を有している都市であり、岩手県内では最も広い市です。

市内人口こそ年々減少傾向にあるものの、広い中で出てくる地域課題等の問題も土地の広さに比例して多く、改選期以降は議員数を削減するため、年々減少傾向にある本市の議員は、一人ひとりの地域課題に向ける負担も増しているものと思える。

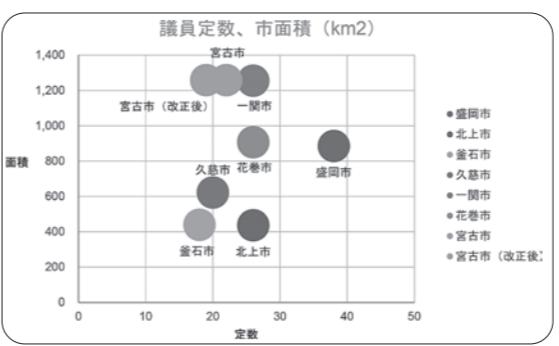


政務活動費とは?

議員が利用できる活動資金となる政務活動費15万円(年額)は、調査研究や広報活動などの議員の経費の一部に使われるものです。

交付された費用で、資料等の購入や、研修費、研修に赴く際の旅費等に利用できます。

年度の締めくくりに領収書の提出を行い、適正に利用する仕組みとなっています。



特別職報酬等審議会付帯意見

特別職報酬等審議会の開催時期について、前回(H22.7.22)から今回(R7.10.8)までの間、審議の機会がなかったため、県内13市の状況や社会経済情勢が反映されていたかの検証が困難であったため定期的な開催を検討したい。

また、議員報酬に関連して政務活動費の在り方についても検討されたい。

point	議長	改正前	改正後	副議長	改正前	改正後	議員	改正前	改正後
		401,000円	423,000円		339,000円	358,000円		320,000円	338,000円



質問

県道重茂半島線改良を官民一丸で

答弁

災害時通行確保と擦れ違い可能になるよう優先的に協議を進める

落合久三議員

市長

■未改良区間は整備されず台風19号で路肩決壊や土砂堆積の発生で通行が困難となつた。市としては災害時の通行確保や対向車のすれ違いが可能となるよう優先的に進むよう協議を進める。

■市営住宅ストック改善事業の今後について

市長 残さは事業系一般

市長 身高齢世帯が約4主な課題は、単



県道重茂半島線

問

■南側の改良は市、議会も毎年要望しているが県の回答はC判定である。改修の実現は地域住民、市、県、市議会、産業団体等の一丸となつた粘り強い要請が力がある。市長は今後の取り組みをどのように考へるか。

市長 市営住宅は28団地は19団地で老朽化が進んでいる。そこで、今後の住宅の維持管理、改修、建替え、用途廃止をどのように考へるか。また市営住宅の指定管理については市外事務者が7,150万円で請負っている。かねてから市内でできることは市内業者で提起してきたが今後の方策をどう考へるか。

市長 身高齢世帯が約4主な課題は、単

問

■未改良区間は整備されず台風19号で路肩決壊や土砂堆積の発生で通行が困難となつた。市としては災害時の通行確保や対向車のすれ違いが可能となるよう優先的に進むよう協議を進める。

■市営住宅ストック改善事業の今後について

市長 介護保険法第115条の49に規定するものとして実施していく。今年度の応募は市外1社であった。応募断念の理由は、法律に基づく業務管理制度の配置等が難しかったと聞いています。今後地元に専門職員が配置される機関に協力頂き水産振興を図ってきた。今後も連携して課題解決に取り組んでいく。

市長 宮古水産センターに基金を活用できるのかと、いう懸念を市長はどう考へるか。

市長 本には、県の



質問 浄土ヶ浜の環境美化、トイレの環境について

工藤 小百合 議員

答弁 清掃内容の再確認、現地確認など、快適なトイレ環境に努めていく

市長 **問** 寄船の寄港は、毎年増加している。宮古港の歓迎・おもてなしの心がすばらしいと評価され、客船の入港が増加している。客船の方々、みちのく潮風トレイルで、風光明媚な浄土ヶ浜に足を運んで来ていると思う。そこで次の点について伺う。

①浄土ヶ浜第一駐車場トイレは市民から汚いと言われている。トイレ整備は喫緊の課題と考えるが、市長の見解は。

②浄土ヶ浜へと続く道路の美化について、市と県が協力・共同作業で整備が必要と考えるが、市長の見解は。

③遊歩道のクマ対策について、市の現状の取組と今後の方針は。

④県道・市道は、相互に連絡を取り、対応を行っている。今後も、関係団体、企業の皆様と協力し、道路の美化、環境整備に努めている。

⑤クマの対応については、



トイレの美しさは、おもてなしの第一歩

市長 **答** ①浄土ヶ浜第一駐車場トイレは、昭和61年に岩手県が建築し、約40年が経過している。老朽化も激しいことから、令和2年度から、岩手県に建物の建て替えを要望している。

②県道・市道は、相互に連絡を取り、対応を行っている。今後も、関係団体、企業の皆様と協力し、道路の美化、環境整備に努めている。

③クマの対応については、

問 駐車場トイレは、毎年増加している。宮古港の歓迎・おもてなしの心がすばらしいと評価され、客船の入港が増加している。客船の方々、みちのく潮風トレイルで、風光明媚な浄土ヶ浜に足を運んで来ていると思う。そこで次の点について伺う。

①浄土ヶ浜第一駐車場トイレは市民から汚いと言われている。トイレ整備は喫緊の課題と考えるが、市長の見解は。

②浄土ヶ浜へと続く道路の美化について、市と県が協力・共同作業で整備が必要と考えるが、市長の見解は。

③遊歩道のクマ対策について、市の現状の取組と今後の方針は。

④県道・市道は、相互に連絡を取り、対応を行っている。今後も、関係団体、企業の皆様と協力し、道路の美化、環境整備に努めている。

⑤クマの対応については、

市長 **答** ①浄土ヶ浜第一駐車場トイレは、昭和61年に岩手県が建築し、約40年が経過している。老朽化も激しいことから、令和2年度から、岩手県に建物の建て替えを要望している。

②県道・市道は、相互に連絡を取り、対応を行っている。今後も、関係団体、企業の皆様と協力し、道路の美化、環境整備に努めている。

③クマの対応については、



整備が必要な射撃場



質問 現行の入札制度の見直しと、多くの市内業者が落札できる仕組みを

答弁 入札制度の改善について令和8年4月を目途に試行する予定



木村 誠 議員

市長 **問** 現在の入札制度については最低価格と同額での抽選が多く発することで、適正な競争性が損なわれる懸念があると認識している。こうした状況を課題と受け止め、入札制度の改善、最低制限価格の算定方法の見直しについて、令和8年4月を目途に新たな制度を試行する予定である。

問 特定の一社に案件が集中する事を避け、より多くの業者が公共事業を受注できる機会を公平に提供する目的として、「落札数制限」の導入を検討できないか。例えば、落札者がその日の入札において同じ等級のものには参加できなか

市長 **答** 現在の入札制度については最低価格と同額での抽選が多く発することで、適正な競争性が損なわれる懸念があると認識している。こうした状況を課題と受け止め、入札制度の改善、最低制限価格の算定方法の見直しについて、令和8年4月を目途に新たな制度を試行する予定である。

問 特定の一社に案件が集中する事を避け、より多くの業者が公共事業を受注できる機会を公平に提供する目的として、「落札数制限」の導入を検討できないか。例えば、落札者がその日の入札において同じ等級のものには参加できなか



本市で使われている入札箱とくじ棒



質問 獣友会(実施隊)の支援強化を

答弁 活動単価の増額等検討する



質問 獣友会(実施隊)の支援強化を

松本 尚美 議員

答弁 活動単価の増額等検討する



市長 **問** クマの駆除対応は獣友会から推薦を受けた実施隊員が行っているが、獣友会員(実施隊員)は高齢化が進み、担い手の確保が課題となっている。また、銃猟者、ガバメントハンターの確保、技量、技術向上は引き続き課題として捉えている。

問 実施隊員が行っているが、獣友会員(実施隊員)は高齢化が進み、担い手の確保が課題となっている。また、銃猟者、ガバメントハンターの確保、技量、技術向上は引き続き課題として捉えている。

市長 **答** クマの駆除対応は獣友会から推薦を受けた実施隊員が行っているが、獣友会員(実施隊員)は高齢化が進み、担い手の確保が課題となっている。また、銃猟者、ガバメントハンターの確保、技量、技術向上は引き続き課題として捉えている。



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



質問 帰ってこない若者のリアルな声届いてる? 実態把握できてるのか?

答弁 若年層の声を丁寧に拾うため新たな調査手法への転換を検討する



佐々木 真琴 議員



<

研修 2 八幡平市・宮古市議会姉妹都市議員交流会 10月23日(木)

内容 「人口減少を見据えた未来の都市計画持続可能な地域づくりへの取り組み」

講師・札幌大学 名誉教授 千葉 博正氏

八幡平市・宮古市議会の姉妹都市議員交流の一環として、札幌大学名誉教授の千葉博正氏を講師に迎え、人口減少社会を前提とした都市計画や地域づくりについて研修を行いました。

研修では、人口減少が進む中で、「これまでの拡大」を前提とした都市づくりから、暮らしの質や地域文化を重視した持続可能なまちづくりへの転換が必要であることが示されました。地域住民が主体となって地域課題の解決や雇用創出に取り組む「ミニユニー・ビジネス」の考え方から、物流の問題にも触れた研修でした。



研修 3 宮古市議会議員研修

11月4日(火)～6日(木)

内容 決算から始める宮古市の今後の総合計画について、希望者には個人面談を実施

講師・渡辺 太樹先生

地方自治法では、「自治体は住民の福祉の増進を図り、最小の経費で最大の効果を上げること」が求められています。研修では、政策や事業を評価する際、事業の成り立ちや総合計画との整合性、財源やコストを確認し、「何をしたか」だけでなく、「なぜ」「どのように効果があったのか」を考える視点が重要であること。特に、決算は政策の効果を検証し、改善につなげる大切な機会であり、議会には個別の事業にとらわれず、総合計画という全体像を見ながら施策を確認していく役割があることを再認識する研修となりました。議会は木を見て森を見ずになつてはいけない。



研修 5 令和7年度岩手県市議会議員研修会

11月19日(水)

内容 講演・移住して発見した岩手の魅力。三本柱で幸福感、あると思います

講演・人口流出止まらない本当の理由と議会の役割

地方自治法では、「自治体は住民の福祉の増進を図り、最小の経費で最大の効果を上げること」が求められています。研修では、政策や事業を評価する際、事業の成り立ちや総合計画との整合性、財源やコストを確認し、「何をしたか」だけでなく、「なぜ」「どのように効果があったのか」を考える視点が重要であること。特に、決算は政策の効果を検証し、改善につなげる大切な機会であり、議会には個別の事業にとらわれず、総合計画という全体像を見ながら施策を確認していく役割があることを再認識する研修となりました。議会は木を見て森を見ずになつてはいけない。



研修 4 宮古地区広域市町村議会連携会議研修会 11月5日(水)

内容 議会が行うべき予算・決算審議についてデータに基づく財政及び総合計画と関係づける

予算は「入り口」から考える
宮古下閉伊地区の議員で合同の研修を行いました。研修では、予算の見方について詳しく学ぶ機会となりました。予算を見る際のポイントは

- ・義務的にかかる経費がいくらで、投資に回せる経費はいくらなのか？
- ・自治体が自由に使えるお金はいくらなのか？

予算の使い道には、市が独自に判断できるものと、国の制度に基づいて使うものがあり、用途は役所を運営するための経費、市民の生活を支えるサービス、将来に向けた投資という三つの観点で整理できます。義務的にかかる経費が増える中で、何にどれだけ使えるのかを考えることの重要性を学ぶ研修となりました。

